

4月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
	三条南RC 「雑誌月間」	三条北RC 「雑誌月間」	三条RC 卓話 佐野勝栄会員	三条東RC 会員卓話 燕RC 会員卓話 加茂RC 「雑誌月間」	吉田RC 通常例会	
8	9	10	11	12	13	14
新潟北 RC 30周年 式典	三条南RC 三条RC50周 年と振り替え	三条北RC 観桜例会 大新潟C.C 三条コース	三条RC 50周年式典最 終打合せ	三条東RC 会員卓話 燕RC 会員卓話 加茂RC 外部卓話	吉田RC 通常例会	三条RC 50周年 式典
15	16	17	18	19	20	21
燕三条青 年会議所 10周年 式典	三条南RC 旬例会 村松 「松の屋」	三条北RC 三条RC50周 年と振り替え	三条RC 50周年式典と 振り替え	三条東RC 例会日変更 燕RC 例会日変更 加茂RC 夜例会	吉田RC 例会日変更	
22	23	24	25	26	27	28
	三条南RC 卓話 大溪秀夫会員	三条北RC 卓話 石川友意会員	三条RC 卓話 渡辺喜彦会員	三条東RC 会員卓話 燕RC 外部卓話 加茂RC 外部卓話	吉田RC 通常例会	
29	30					
昭和の日	振り替え休日					

★上記以外RC 火曜日 田上あじさい・分水・巻 木曜日 見附

記帳受付

3日(火) 田上あじさいRC (田上町商工会館)
 9日(月) 三条南RC (三条信用金庫本店)
 16日(月) 三条南RC (三条信用金庫本店)
 18日(水) 三条RC (三条信用金庫本店)
 19日(木) 燕RC (燕三条ワシントンホテル)
 19日(木) 加茂RC (加茂市産業センター)
 20日(金) 吉田RC (山岸会計事務所)
 24日(火) 田上あじさいRC (田上町商工会館)

お知らせ

2007年

5月12日(土) 地区協議会 (ホテルオークラ新潟)
 7月10日(火) 渡辺GB公式訪問
 9月1日(土) 第4分区IM (分水)
 9月15～17日 ライラ研修会 (五頭連峰少年自然の家)
 11月17・18日 地区大会 (朱鷺メッセ)



三条北ロータリークラブ週報

率先しよう

例会日
2007. 3. 20
累計 No 982
当年 No 35

国際ロータリー会長 ウィリアム・ビル・ボイド 第2560地区ガバナー 中條耕二
 ホームページ <http://www.rotary2560.jp>

会長/小林 満
 幹事/本間重満
 SAA/米山キクエ

例会日/火曜日 12:30～13:30
 例会場/三条ロイヤルホテル TEL34-8111 FAX34-8114
 事務局/三条市本町3-5-25 三条ロイヤルホテル内
 TEL35-7160 FAX0256-35-7488
 ホームページ <http://www.sanjo-nrc.org> メールアドレス north@sanjo-nrc.org

行事: 卓話「最近感じたこと」三条税務署々長 中田和幸様

出席: 本日の出席 64名中 44名

先々週の出席率 64名中 53名 82.81% (前年同期 80.33%)

先週のメイクアップ: 3月14日 三条RCへ 中條耕二さん、岡田 健さん、本間建雄美さん

安田貞夫さん、石川勝行さん、坂内康男さん

15日 加茂RCへ 高橋彰雄さん

17日 会長幹事エレクト研修 山中 正さん、小林繁男さん

中條耕二さん、斎藤 正さん

石川勝行さん

19日 三条南RCへ 中條耕二さん、山本 賢さん、今井克義さん

岡田 健さん

本日のゲスト: 三条税務署 署長 中田和幸様

会長挨拶: 小林 満会長



本日は三条税務署の中田 和幸署長様から例会にお出で頂き、卓話をいただきます。税務署長、警察署長などと紹介されますと、何にも悪いこともしていないのに、なぜか「ドキッ!」とするのは私だけでしょうか・・・

私の会社の社是社訓は「誠意を以って人に接し、技術を以って社会に貢献する」です。私が35年前に造った社訓ですがお客様は勿論、仕入先様、外注様そして社員諸君とすべての人に誠意をもって接しようと言うこと

で、技術を以って社会に貢献するとは我が社の金型技術で利潤をあげて、納税という手段で社会に貢献しようではないかということです。数年前、公示法人となり若干の社会貢献をしたこともあったの

ですが、ここ近年はさっぱりで申し訳なく思っております。

本日、中田署長様は「最近感じたこと」とのタイトルでお話して下さいます。

米山奨学生 of フェブリさんが3月14日、ホワイトディの日に女のお子さんを出産されました。体重が3,000 gで母子ともにすこぶる健康だと聞いております。健やかにご成長あらんことを祈念しております。

先週の土曜日に新潟でペッツ（会長幹事エレクト研修）が開催され、いよいよ山中年度のスタートです。次週、山中エレクトがエレクト研修報告をなさいますが、何で私がどきどきするのかわかりませんがきっと一年前のことを思い出しているのかも知れません。

春分の日の明日、出雲崎コースで東RCのゴルフコンペが開催されます。参加者23名中、北クラブから8名が参加いたします。会長方針の一つに東クラブへの支援、協力も掲げておりました。そんな想いからヘタッピーの私も参加させて頂くつもりでおり、大いに楽しんで来たいと思っております。ただ今朝も7 cmの降雪があり中止になるかもしれませんが・・・

幹 事 報 告： 本間（重）幹事

・地区米山奨学委員長より 米山カウンセラー研修会開催のご案内

日 時 2007年4月21日（土）11：30～

会 場 三条ロイヤルホテル

・らいふすてーしょん運営委員会より 運営支援のお願い

ニコニコボックス：	20日現在累計	1,007,000円
-----------	---------	------------

小 林 満 君 三条税務署中田所長を歓迎いたします。卓話宜しく申し上げます。

本間 重満君 //

米山キクエ君 //

丸 山 勝 君 3月18日長男が結婚しました。我が家に春が来ました。でも今日もなごり雪で寒く会社も3月に入って真冬に戻りました。

外 山 晴 一 君 「雪を待つ冬には雪が降りもせず 天が狂いて春に雪降る」

中 條 耕 二 君 青年署長 中田署長のご光来、心より歓迎します。残念ですが所用のため早退させて頂きます。

本 間 重 満 君 3／18長男に第二子が誕生致しました。お陰様で2回目のおじいちゃんになりました。

早 川 瀧 雄 君 しつこい冬将軍も今日まででしょう。明日から春の女神が微笑むでしょう。それにしても異常気象ですね。／

馬場直次郎君 ♪季節外れの雪が降ってるウ～冬の寒さに逆戻り、子ども達は雪景色を眺めて春休みでなく、こりゃ冬休みだろーと言っています。一も早く桜の開花を待ち望んでいるこの頃です。

直結します。もはや通貨が信頼を失い、通貨が通貨でなくなり、紙になるわけです。

少し話が長くなりましたが、私の悩みというのは、要はこういうことです。事業者の皆さんは、日々、事業の生産性を高めるために、コストを削減したり、よいものを作ろうとやっきになっています。ものすごい努力されています。それだからこそなのでしょうが、コストを引き上げる要因となる、税金の引き上げや、年金などの社会保険料の引き上げ、あるいは金利の引き上げという話に本能的に反対されます。

しかし、反対して大損するのは、まさに反対した人その人なのだという矛盾なのです。

所得分配の適切さを考える財政政策も、失業を抑えるように考える金融政策も、どちらも生産性を押し上げようとしてやっているわけではないのです。長い目でみてよいように、短期的にはコストアップになるかもしれないが、長い目でみてよいように、全体で中立になるようにコントロールして、政策を提案しているのです。

もっとはっきりいえば、生産性は、財政政策や金融政策で何とかできる問題ではないのです。せいぜい、生産性を高めようと努力している事業者皆さん、従業員の皆さんの足を引っ張らないようにする、中立的にすることができるだけです。中立的にする、長い目でみてよいようにするということは、短期的には足を引っ張る可能性があるということです。

最後に、ここから先は余談ですが、ではどうしたらいいかということですが、ここで日本人のお家芸を思い出して欲しいのです。他国と陸続きのヨーロッパでは日常茶飯事でやっているのですが、隣の国、外国との比較をしてほしいのです。外国はどうなっているのか、これをよくみてほしいのです。

どうしても日本は島国だからなのか、世界に日本しかないかのような錯覚でものをいう傾向があります。たとえば、全国で売られている日本経済を得意とする某新聞は、法人税の減税を主張しています。法人税の実効税率が国際的に見て日本が高いといっています。事実はそのとおりです。

しかし、それで減税を主張するのであれば、日本では低い消費税の増税を同じ声の大きさと主張すべきです。

また、これに同調して一部の企業では法人税の減税を主張しています。しかし、法人税を減税すれば、年金の財源をまかなうために、借金をするか、消費税を上げるか、年金の保険料、掛け金を引き上げるしかないわけです。

借金の弊害は先ほど申しましたように長い目で生産を引き下げます。消費税を引き上げるか、年金の掛け金を引き上げるとなると、国民つまり消費者の懐は締まります。

さらに、年金の掛け金は企業も半分負担していますから、その負担が増えます。

つまり、法人税を減税しても、消費者の懐は締まるし、企業の従業員に対する年金の掛け金の負担は膨らむわけです。

また、金利を引き上げるなどというのであれば、円の価値が引き下がり、原油や鉄などの輸入している資材の価格や輸入食料の価格が上昇することを甘んじて受け入れる覚悟が必要です。そこで資材の価格が高いのは中国のせいだというのはあまりにも虫が良すぎるし、そんな無責任な主張には世界中の誰も耳を貸しません。

我々は、自分の国が他の国と比べて何が違うのか、その代わりに何がどうなっているのか、持っている政策手段や経営資源は何か、その限界は何かといったことをもっともっと強く意識してほしいわけであります。